

～風を追いこせ～
大崎市立古川第五小学校

学校だより

〈期待する児童像〉
☆思いやりのある子供 (トチノキの葉のように) 【徳】
☆元気な子供 (トチノキの幹のように) 【体】
☆ねばり強い子供 (トチノキの根のように) 【知】

令和6年1月25日(木) No.12 〒989-6136 大崎市古川穂波三丁目5-7

TEL: 0229-24-8515 FAX: 0229-24-8516



「はやね はやおき あさごはん あいさつ しゅくだい メディアコントロール」を実践しましょう

進学・進級に向けて

新年を迎えてから早くも1か月が過ぎようとしています。子供たちは新たな年を迎え、書きぞめの学習を始め、様々な学習にしっかりと取り組んでいます。

さて、2月を迎えます。学年のまとめの時期であると共に、6年生は中学進学、1年生から5年生は進級に向けての準備をする大切な時期です。これまでの生活を振り返り、学習の成果を確認し、進学・進級に向けてさらに頑張れるように励まし、指導にあたってまいります。

インフルエンザについては、大崎管内では注意報レベルを超え、警報レベルが継続しております。今後も換気や加湿を行い、手洗いを励行するなどの対策をしながら教育活動を進めてまいります。ご家庭におかれましても子供たちの健康管理と励ましをよろしくお願いいたします。

<給食まつり開催>

1月16日(火)から22日(月)まで、給食まつりを開催しました。給食委員会が中心となって準備をし、給食クイズ、調理員さんの紹介、人気メニューランキング、豆つかみ大会結果発表、給食豆知識などを校内放送で行いました。1・2年生は好きな給食の絵と作文、3・4年生は栄養士さんや調理員さんへの手紙、5・6年生はわたしの献立に取り組みました。給食について考えたり、携わっている人への感謝の気持ちを持ったりする良い機会となりました。



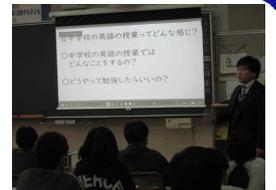
<大谷翔平選手からグローブをいただきました！>

大谷選手から寄贈していただいた3つのグローブが五小にも届き、1月9日(火)の全校集会後に贈呈式を行いました。代表で受け取った6年生はテレビのインタビュー取材に堂々と答えていました。2つのグローブは1年生の教室から順番に回しているところです。全校の児童が手に取ってみるまでにはもう少し時間がかかりそうです。1つは中央昇降口正面のガラスケースに飾っておりますので、来校した際にはぜひご覧ください。



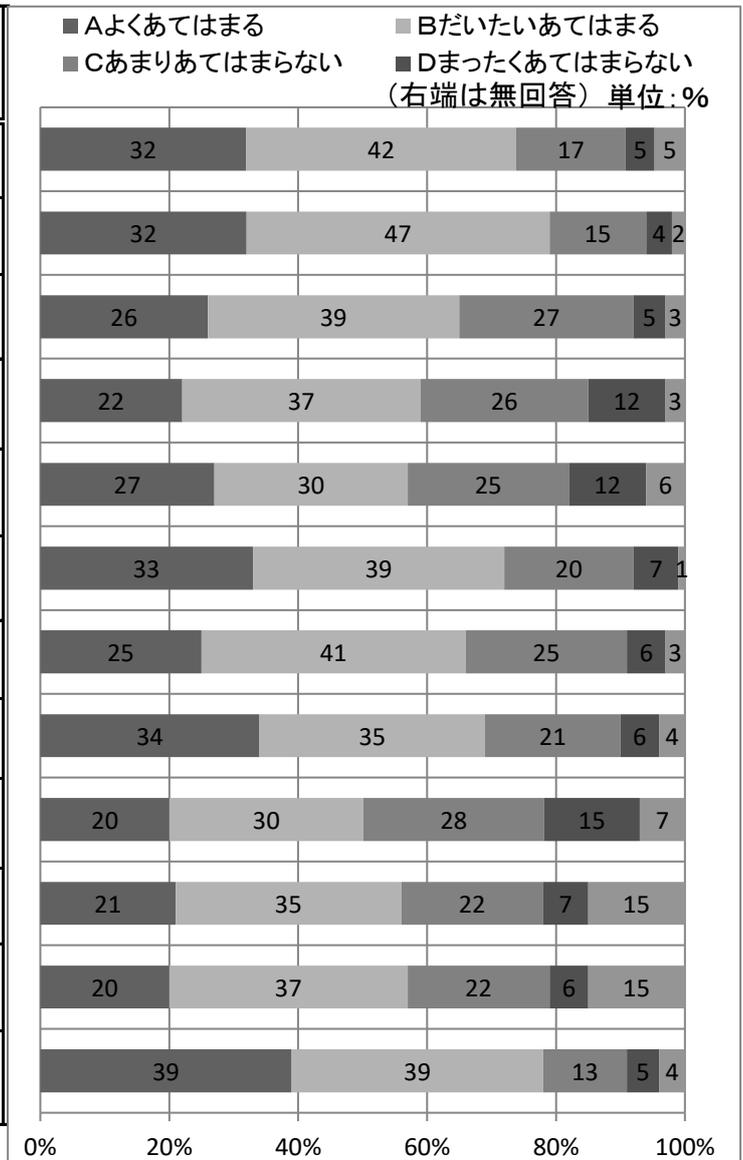
<南中学校出前授業>

1月19日(金)南中学校の先生方が6年生に授業をしてくださいました。6年生は国語、数学、英語、理科の授業を体験することができました。みんな目を輝かせて学んでいました。



保護者アンケートの結果

No	評価項目
1	学校は、学校教育目標や教育方針を分かりやすく伝えている。
2	お子さんには、思いやりの心が育っている。
3	お子さんは、授業が分かると言っている。
4	お子さんは、家庭学習によく取り組んでいる。
5	お子さんは、家庭でも外遊びやスポーツなど、進んで体を動かしている。
6	お子さんは、「早寝・早起き・朝ごはん」の基本的な生活習慣が身に付いている。
7	お子さんは、挨拶や返事がしっかりできる。
8	お子さんは、学校に行くのが楽しいと言っている
9	お子さんは、家庭で決めたゲームやYouTube等の視聴についての約束を守っている。
10	学校は、お子さんの話や悩みなどに耳を傾け、支援にあたっている。
11	学校は、お子さんのことについて相談しやすい環境を整えている。(教育相談、スクールカウンセラーなど)
12	学校は、お子さんの安全に配慮している。(街頭指導、各種避難訓練・緊急メール)



AとBを合わせた割合が8割以上の評価は、昨年度は「学校は安全に配慮している」でしたが、今年度、この項目は78%でした。引き続き、保護者の皆さまのご協力をいただきながら、安全対策を進めていきます。また、登下校指導の様子や各種訓練の様子など、学校だよりやブログ等でお伝えしていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。一方、「思いやりの心が育っている」が79%と、8割に迫ってきました。

学習面では、「授業が分かると言っている」「家庭学習に良く取り組んでいる」がいずれも7割に届いていません。教員の授業づくりの研修を充実させると共に、学力検査の結果を生かした指導の改善を図り、児童一人一人が学習内容を理解できるようきめ細かな指導をしていきたいと考えています。家庭学習のお声掛けも、引き続きよろしくお願いいたします。

昨年度より顕著に低くなっている評価は「学校に行くのが楽しいと言っている」「お子さんの話や悩みなどに耳を傾け、支援している」でした。どちらも7~8%下がりました。「できた」「分かった」という達成感を味わわせると共に、自分の良さを認め、相手の良さを見付ける教育活動を進めることで、全ての児童に学校へ行くのが「楽しみ」と言ってもらえるように取り組んでいきたいと考えています。また、子供たちが相談しやすいように、担任だけでなく、複数の教員が子供たちと関わるようにし、子供たちの声に耳を傾けながら支えていきたいと考えています。

保護者の皆様からいただいた自由記述も参考にしながら、子供たち一人一人が「より良い自分」を目指して頑張ることができる、「行きたくなる学校」づくりに生かしてまいります。